

## 運営推進会議、介護・医療連携推進会議記録

日時	2023年2月16日(木) 14:00~15:30
事業所名	医療生協さいたま生活協同組合 ヘルパーステーションいぶき
サービス種別	定期巡回随時対応型訪問介護看護
記録者	斎藤 佳枝
出席者(24名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ケアセンターきょうどう/渡辺様</li> <li>●芝居宅/今井様      ●芝西居宅/佐藤様</li> <li>●ほっとみるく/大岩様      ●訪問看護ステーション虹/野内様      ・城後様</li> <li>●タムス訪問看護ステーション/馬場様</li> <li>●川口さくらクリニック在宅往診/朱様・松島様</li> <li>●お結び訪問看護ステーション/佐々木様</li> <li>●訪問看護ステーションルピナス/大島様</li> <li>●老健みぬま/濱岡様・小林様・田原様・宇都宮様</li> <li>●ケアセンターかがやき/中村様</li> <li>●協同病院相談室/竹本様・熊谷様・久保様</li> <li>●まちづくりコーディネーター/水野様・坂井様</li> <li>●川口市役所(介護福祉課) 宍倉様・加倉井様・荒川様</li> </ul>
会議項目・内容	別紙のとおり
所見・課題・その他	<p>老人保健施設みぬまのみぬまひろばで集合し開催</p> <p><b>【老人保健施設みぬま】</b>          作業療法士 濱岡様          ・事例を通し、支援会議で病院側から「家事ができるかわからない」といわれ、在宅困難なのではないかと思っていたが、定期巡回の介入の仕方を聞いて納得できリハを受け入れた。在宅の様子を逐一報告してくれたことでリハも目標を上げていくことができた。高次脳の在宅復帰率は低い。最初は随時訪問や頻回な訪問で大変だと思うけれどだんだん減らしていけたりと在宅に戻るケースを知ることができるのはとても貴重だし、在宅が困難だと思っても実は帰れるケースがもっと増えていくのだと思った</p> <p>作業療法士 小林様          ・現実に転倒やADL低下が懸念されていたが、車椅子移乗ができるように整備した生活が送れ在宅生活が継続できたことは素晴らしい</p> <p>ケースワーカー宇都宮様          ・みぬま入所当初から進行性の難病があり、不安だけでも家にいたいという希望があった。定期巡回の頻回な訪問が入り、随時での対応によって在宅の可能性を広げられることができ本当に嬉しい</p> <p><b>【さいたま協同病院】</b>          MSW熊谷様</p>

・在宅が軌道に乗るように想像以上に日常を支えてくれる。帰れないと思った方が自転車に乗ることができるようになるまでの事例は驚いた。  
協同病院では回復期リハ棟でリハ職が、在宅無理だというと主治医も在宅復帰を勧めない。医師へのプレゼン力を高めて柔軟な考え方を理解してもらいたい。またリハ職は定期巡回のサービスをまだ知らない。定期巡回を説明し在宅の可能性を理解してもらえるようにしたい。

**【かがやき定期巡回】**

中村様

・定期巡回は「はじめる 続ける おわる」というサービス。リハや医師との連携が大切である。目指すところは在宅療養の継続である

**【訪問看護ステーション】**

タムス訪問看護ステーション 馬場様

・報告でがんの末期の方への定期巡回利用のケースを聞いてニーズが非常に高いことを知った。定期巡回は介護度の低い方へ入っているというイメージであったが多職種で在宅を支えるという終末期支援のありかたの幅が広がった

訪問看護ステーションルピナス川口 大島様

・在宅の限界点を下げることが理解できた。終末期への支援はルピナスでも定期巡回と一緒にやっている。在宅を支えるサービスとしてなくてはならないものになってきたと感じる。連携の仕方もたくさんあることを知り学びを深めた。

お結び訪問看護ステーション 佐々木様

・定期巡回は医療保険入っているケースが多い

こちらから定期巡回のケースを依頼する場合、いぶきが訪問できる範囲も知りたい

**【川口市役所】**

介護保険課 荒川様

・事業所運営や事例報告を伺い大変参考になり、在宅を支えるうえでよいサービスだということがよく分かった。医療従事者への周知はとても大切だと感じますので川口市としても周知活動を行い、在宅療養が行えるように関わらせていただきたいと思う

**【さいたま協同病院】**

街づくりコーディネーター 水野様

・地域の団体とつながり協力し合いながら健康づくりを実施している  
地域の高齢者は実はまだあまり介護保険を知らない。少ない年金で施設も入れないなんてと絶望している方もいる。在宅療養に希望が持てることをぜひ周知していただきたい

**【近隣の居宅介護】**

芝西居宅 佐藤様

・定期巡回は、看護が医療保険でも介護保険でも利用している方がいる  
チームケアで在宅療養を支えているということがすぐわかる

芝居宅 今井様

- ・昨日新規で病院に行き支援会議で、自身で布団をかけることができないという方の話を聞いて、どうやって家で生活をするのだろうか？と思ったが、今日の事例を聞くと自宅に帰れないかもと安易に考えてはいけないということを知った。

**【質疑応答】**

お結び訪問看護ステーション 佐々木様

- ・医療保険での定期巡回サービスを利用している方がお結びでは多い。介護保険の場合、介護度が低いと入浴などはどうするのか？

→介護度1の利用者に1日1回の訪問というわけでもないので、必要度に応じて入浴介助もするケースもある

- ・何回も随時で呼ぶ方がいると聞くが何回が限界なのか？

→コールが頻回な方は確かにいる。コール機をベッドサイドに置いておくとか、緊急連絡での電話での傾聴とか、電話がかかってくるだろう時間帯に訪問を変更してみるとか、随時で対応を継続しているとコールする理由がわかってくる。短時間での随時対応はそれもメリットではあり、訪問を続けることで徐々に安定していくケースが多い

- ・訪問できる範囲とは？

川口の北部あたりではある。前川あたりが、同法人内のかがやきとお互い遠い場所にあり悩ましい地域である

芝西居宅 佐藤様

- ・ターミナルの方でも情報のやり取りや連携は、スマケアを活用することもできるのでしょうか

→スマケアを関連職種の方は見れます

訪問看護ステーションルピナス川口 大島様

- ・1人の方へ、何人くらいがかかわるのか？

→夜勤があるので、夜勤者は全員いけると仮定しても10人くらいは関わっている。徐々に利用者様もいろんな職員が来ることに慣れてくれる

**【閉会】 c c きょうどう所長 平泉**

コロナが猛威を振るい始め、3年ぶりの推進会議の開催となりました。実際に皆様にお会いして交流ができる時間は非常に貴重だと思いました。

この介護医療推進会議は、地域密着型サービス事業所であるいぶきが、地域の方に対して提供しているサービスの内容を明らかにすることにより、皆様に開かれたサービスを実施しサービスの質を確保して行くという目的があります。現状の活動報告を行い、そして皆様からの要望や助言をしっかりと聞くことで、より皆様と連携や協力のもと交流を図ることで、より開かれた事業所となるべく、努力を続けていきたいと考えています。

	今年、8月にはふれあい生協病院が開院され、地域包括ケア病棟ができます。在宅療養を支える可能性を皆様とともに検討しながら、よりよいサービスが提供できますように頑張りたいと思います。
次回の会議予定日	2023年7月頃 予定

※ 記入欄は適宜調整してください。収まりきらない場合は2枚以上でも差し支えありません。

※ 会議の記録は、この書式以外でも差し支えありません。